

感染症週報〔市内週報 平成24年第34週〕

結核・感染症発生動向調査

平成24年8月28日

平成24年第34週感染症発生状況【川崎市内】

平成24年8月20日～8月26日

5類感染症(定点把握疾患)等	全数把握疾患	届 出	累計(平成24年第1週以降)
<p>第34週で患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) ヘルパンギーナ 3) 突発性発疹でした。</p> <p>感染性胃腸炎は定点当たり3.63人と前週(3.04)より患者報告数はやや増加しましたが、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。</p> <p>ヘルパンギーナは定点当たり2.16人と前週(2.12)より患者報告数はわずかに増加し、例年よりも高いレベルで推移しています。</p> <p>風しんの届出が2件あり、6月以降、例年を大きく超える流行が続いています。風しんに罹患したことがなく、また予防接種を受けたことがない方については、予防接種を受けるなど風しんへの感染対策が重要です。</p>	1類感染症	なし	なし
	2類感染症	結核 9件	結核 266件
	3類感染症	なし	細菌性赤痢 1件、腸チフス 2件 腸管出血性大腸菌感染症 9件
	4類感染症	なし	E型肝炎 2件、 A型肝炎 1件、デング熱 2件、 マラリア 2件、レジオネラ症 5件
	5類感染症	後天性免疫不全症候群 1件 風しん 2件	アメーバ赤痢 11件 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2件 後天性免疫不全症候群 11件、梅毒 7件 破傷風 1件、風しん 35件、麻疹 2件



